資料２－１

第3次学校教育推進計画の施策体系の基本的な考え方

（計画期間　令和5年度～令和14年度）

第3次学校教育推進計画

■目指すべき子どもの姿■
夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども

■教育目標■
自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

Ⅰ　児童生徒の資質能力の育成について

		成果指標
1　確かな学力の育成	「わかる授業」の推進に向けた新しいスタイルの学校教育の確立	【施策方針A】○全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較 ○千葉市学力状況調査における平均正答率 【施策方針B】○コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見交換したり、調べたりするために使用している児童生徒の割合 【施策方針C】○授業において、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の割合
2　豊かな心の育成	思いやりの心の育成と一人一人の夢の実現	【施策方針D】○「『自分にはよいところがある』と思う」と答えた児童生徒の割合 ○「『いじめはどんな理由があってもいけないことだ』と思う」と答えた児童生徒の割合 【施策方針E】○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている児童生徒の割合 ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる児童生徒の割合 【施策方針F】○「『将来の夢や目標を持っている』と思う」と答えた児童生徒の割合 ○「『難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している』と思う」と答えた児童生徒の割合
3　健やかな体の育成	生涯にわたり健やかに生きるための土台の育成	【施策方針G】○体力・運動能力調査において、8種目中全国平均を上回る種目数 ○1週間の総運動時間が60分以上の割合（体育の授業は含まない） 【施策方針H】○朝食を欠食する児童生徒の割合 【施策方針Ｉ】○毎日の睡眠時間 ○12歳児（中学1年生）で、むし歯のない生徒の割合

Ⅱ　児童生徒の育成を支える教育環境の整備について

		成果指標
4　質の高い教職員	教職員のキャリアステージに応じた研修の充実と働き方の抜本的改革	【施策方針J】○校内外の研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている教職員の割合 【施策方針K】○勤務時間を除く在校等の時間が月平均45時間を超える教職員の割合
5　魅力ある教育環境	特色ある教育活動とソフト・ハード両面における魅力的で充実した環境の整備	【施策方針L】○児童生徒が学校で充実した教育を受けられると感じている保護者の割合 ○学校支援地域本部(千葉市版コミュニティ・スクールも含む)の拡充と充実 ○教育環境整備のための適正配置取り組み地区数 【施策方針M】○学校・地域の特性や実情に即した学校独自の学校総合防災マニュアル等の改善・充実を目的とした検討の実施率 ○セーフティウォッチャー一人あたりの児童・生徒数 【施策方針N】*※今後、「放課後子どもプラン（第2期）」と合わせて作成* 【施策方針O】○学校が安全・安心で衛生的に生活できる場所と感じる児童生徒の割合 ○障害等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境が整備されていると感じる児童生徒の割合 【施策方針P】○ネットワーク回線の増強を実施した学校数 ○ICT活用指導力のある教員の割合 ○情報活用の基礎となる知識や態度についてしどうのできる教員の割合
6　個別の支援が必要な児童生徒へのサポート	一人一人に寄り添った誰一人取り残すことのない教育の実現	【施策方針Q】○いじめ対応の正しい理解と未然防止、適切な早期対応の推進のための校内研修を実施した小中学校の割合 ○いじめ解消率 【施策方針R】○学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合 【施策方針S】○小中特別支援学校における学校間や居住地における「交流及び共同学習」の実施回数 【施策方針T】○小・中学校で個別の教育支援計画を作成している学校の割合 【施策方針U】○公立夜間中学校における学校評価 *※「日本語指導」に関する事項を検討中*